



経営情報レポート



平成 23 年決算データからみる クリニックの 経営実績報告

- ① 平成 23 年 医療法人経営データ分析
- ② 平成 23 年 優良クリニックの経営実態
- ③ 平成 23 年 医療法人経営指標分析

1 | 平成 23 年 医療法人経営データ分析

平成 23 年 クリニック経営の状況

*分析母体：無床診療所（医療法人 282 件）の平成 23 年の決算データを集計した。

*医業収入および医業費用等の 1 診療所平均を算出、前年比較により参考データとする。

■平成 23 年 比較要約変動損益計算書（単位：千円）

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
I 医業収入	123,615	123,230	99.7
1. 保険診療	111,366	110,288	99.0
2. 保険外診療収入	10,942	11,574	105.8
3. その他の医業収入	1,307	1,368	104.7
II 変動費	17,185	17,682	102.9
材料費	14,415	14,770	102.5
検査委託費	2,770	2,912	105.1
III 限界利益	106,430	105,548	99.2
IV 医業費用	101,115	99,918	98.8
1. 人件費	55,004	55,877	101.6
(うち役員報酬)	(32,592)	(32,743)	100.5
2. その他固定費	46,111	44,041	95.5
減価償却費	3,962	3,791	95.7
地代・家賃	7,670	7,674	100.1
研究研修費	357	309	86.6
保険料	3,104	3,247	104.6
接待交際費	1,279	1,230	96.2
その他経費	29,739	27,790	93.4
V 医業収益	5,315	5,630	105.9

1 | 収益性 対前年度比較分析

(1) 医療法人経営における全体動向

平成 23 年における医療法人の経営実績は、全医療法人平均で減収増益となりました。保険外診療収入、その他の医業収入は増加していますが、保険診療が減収となっています。ただし減収幅は 0.3%、金額にして 385 千円という小額にとどまっています。一方、変動費は 2.9%増加していますが、医業費用は 1.2%減少しており、この要因としてはコスト削減の成果があります。

◆ 医業収入・費用および利益の状況

● 医業収入

対前年比 0.3%の減収、金額にして 385 千円の減少となりました。
保険外診療収入、いわゆる自由診療収入は、5.8%増加しています。

● 変動費・医業費用

変動費は対前年比 2.9%の増加となっています。材料費と検査委託費はともに増加しています。

医業費用は、対前年比 1.2%の減少となっています。

人件費は 1.6%の増加、役員報酬は 0.5%の増加となっており、役員報酬に大きな変更はありません。

● 医業利益

平成 23 年の平均医業利益は、5,630 千円であり、対前年対比 5.9%増という結果になりました。

(2) 利益状況

限界利益は減少していますが、医業利益と経常利益は増加しています。減収による限界利益の減少をコスト削減によりカバーしたため、医業利益・経常利益ともに増加することとなりました。

■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
限界利益	106,430	105,548	99.2
医業利益	5,315	5,630	105.9
経常利益	6,903	7,560	109.5

2 | 医業収入 対前年増減比較分析

(1) 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
医業収入合計	123,615	123,230	99.7
保険診療収入	111,366	110,288	99.0
保険外診療収入	10,942	11,574	105.8
その他医業収入	1,307	1,368	140.7

(2) 医業収入分析

● 医業収入

平成 23 年調査対象全法人平均で 123,230 千円であり、対前年比で見ると、0.3%の減収となりました。

- 医業収入の内訳では、保険診療は減少していますが、保険外医業収入、その他の医業収入はともに増加しています。金額的には、保険診療収入が 1,078 千円減少し、保険外診療収入が 632 千円、その他医業収入が 61 千円の増加となっています。

3 | 医業費用 対前年増減比較

(1) 医業費用対前年比較

① 変動費（医薬品・医療材料費）

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
変動費合計	17,185	17,682	102.9
変動費率	13.9%	14.3%	—
材料費	14,415	14,770	102.5
検査委託費	2,770	2,912	105.1

② 人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 22 年	(対収入比%)	平成 23 年	(対収入比%)	前年対比 (%)
人件費合計	55,004	44.5	55,877	45.3	101.6
役員報酬	32,592	26.4	32,743	26.6	100.5
その他人件費	22,412	18.1	23,134	18.8	103.2

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 22 年	(対収入費%)	平成 23 年	(対収入費%)	前年対比(%)
固定費合計	46,111	37.3	44,041	35.7	99.5
減価償却費	3,962	3.2	3,791	3.1	95.7
地代・家賃	7,670	6.3	7,674	6.2	100.1
研究研修費	357	0.3	309	0.3	86.6
保険料	3,104	2.5	3,247	2.6	110.4
接待交際費	1,279	1.0	1,230	1.0	96.2
その他経費	29,739	24.0	27,790	22.5	93.4

(2)医業費用分析

●変動費

平成 23 年全法人平均で、17,682 千円となり、前年と比較すると 2.9%増加しています。本数値は、材料費及び検査委託費で集計しており、材料費が 2.5%、検査委託費は 5.1%の伸びとなっています。

●人件費

平成 23 年全法人平均で、55,877 千円となりました。対前年比 1.6%の増加となっています。役員報酬は横ばいながら、スタッフの昇給はほぼ例年通り実施されたとみられます。

●その他医業費用

平成 23 年全法人平均で 44,041 千円となりました。前年比の金額で 2,070 千円の減少 (4.5%減) となっており、コスト削減に努めていると予測されます。個別に抽出した科目のうち、保険料が対前年比 4.6%の増加となっています。

2 | 平成 23 年 優良クリニックの経営実態

*分析母体：診療所（医療法人 282 件）の平成 23 年の決算データのうち、医業収入上位 20%（56 件）を抽出し、優良法人として経営データを集計した。

■平成 23 年 優良法人比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
I 医業収入	245,776	244,417	99.4
1. 保険診療	219,915	217,618	99.0
2. 保険外診療収入	24,285	25,130	103.5
3. その他の医業収入	1,576	1,669	105.9
II 変動費	50,564	50,318	99.5
材料費	44,840	44,189	98.5
検査委託費	5,724	6,129	107.1
III 限界利益	195,212	194,099	99.4
IV 医業費用	180,813	179,671	99.4
1. 人件費	96,634	101,161	104.7
（うち役員報酬）	(47,415)	(50,140)	105.7
2. その他固定費	84,179	78,510	93.3
減価償却費	8,271	7,360	89.0
地代・家賃	14,378	14,716	102.4
研究研修費	654	369	56.4
保険料	3,812	4,195	110.0
接待交際費	2,931	2,797	95.4
その他経費	54,133	49,073	90.7
V 医業収益	14,399	14,428	100.2

1 | 収益性 優良法人の経営状況

(1) 優良法人の全体動向

平成 23 年診療所経営実績をみると、全法人平均では減収増益でした。医業収入上位 20% の優良法人でも、同様に減収増益となっています。

医業収入は全法人における減少幅 0.3% よりも若干下回り、0.6% の減少となっています。変動費は前年比 0.5% 減、また限界利益は同 0.6% の減少となりました。

医業費用は、人件費が 4.7% の増加、その他固定費は 6.7% の減少となりました。

- 医業収入は、対前年比 99.4% (0.6% 減)、金額にして 1,359 千円の減少となりました。内訳をみると、保険診療収入が前年比 1.0% のマイナスとなった一方、自由診療収入およびその他医業収入ともに増加しています。
- 変動費は、対前年比 0.5% 減となっています。材料費が 1.5% 減少したのに対して、検査委託費は 7.1% の伸びを示しています。
- 医業費用は、対前年比 99.4% (0.6% 減)、金額で 1,142 千円の減少となりました。固定費削減の取り組みなどによりその他固定費の減少があり、人件費（役員報酬含む）の伸びを吸収できたといえます。
- 医業利益は、対前年比 100.2% (0.2% 増)、金額で 14,428 千円（前年比 29 千円増）でやや増加となりました。

(2) 優良法人の利益状況

■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
限界利益	180,813	179,671	99.4
医業利益	14,399	14,428	100.2
経常利益	14,421	14,874	103.1

利益の状況においても、各院がコスト削減に対する取り組みを継続しているところですが、優良法人では、これらの取り組みも効果を上げたと考えられます。

2 | 医業収入 優良法人の経営状況

(1) 優良法人 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
医業収入合計	245,776	244,417	99.4
保険診療収入	21,915	217,618	99.0
保険外診療収入	24,285	42,243	102.1
その他医業収入	1,576	1,669	105.9

(2) 医業収入分析 優良法人(医業収入上位 20%)

- 医業収入は、平成 23 年調査対象優良法人平均で、244,417 千円（対前年比 99.4%）となり、前年に比べ 0.6%の減少となりました。
- 医業収入の内訳では、保険診療収入が 217,618 千円（対前年比 99.0%）でやや減少したものの、保険外診療収入は 42,243 千円（同 102.1%）、その他医業収入が 1,669 千円（同 105.9%）とともに増加しています。

3 | 医業費用 優良法人の実態

(1) 優良法人 医業費用対前年比較

① 変動費（材料費・検査委託費）

(単位：千円)

	平成 22 年	平成 23 年	前年対比 (%)
変動費合計	50,564	50,318	99.5
変動費率	20.6%	20.6%	—
材料費	44,840	44,189	98.5
検査委託費	5,724	6,129	107.1

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 22 年	(対収入比%)	平成 23 年	(対収入比%)	前年対比(%)
人件費合計	96,634	39.3	101,161	41.4	104.7
役員報酬	47,415	19.3	50,140	20.5	105.7
その他人件費	49,219	20.0	51,021	20.9	103.6

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 22 年	(対収入費%)	平成 23 年	(対収入費%)	前年対比(%)
その他 固定費合計	84,179	34.3	78,510	32.1	93.3

(2)優良法人 医業費用分析

●変動費

平成 23 年優良法人平均で、50,318 千円（対前年比 0.5%減）となりました。

材料費は減少（対前年比 651 千円、1.5%減）となった一方、検査委託費は、7.1%増加しています。

●人件費

平成 23 年優良法人平均で、101,161 千円（対前年比 4.7%増）となりました。

収入対比の人件費率では、平成 23 年分 41.4%で前年から 2.1%の伸びとなりました。役員報酬が 1.2%増、その他人件費が 0.9%増となっています。

役員報酬の平均は、平成 23 年 50,140 千円（前年から 5.7%増）、売上対比の役員報酬の占める比率も同 23 年 20.5%（同 1.2%）と若干の増加がみられます。分析対象のうち一部法人の医業収入増加に伴った増額によるものと推測されます。

●その他医業費用

固定費の合計は、平成 23 年優良法人平均で 78,510 千円（対前年比 6.7%減）という実績となりました。優良法人においても、コスト削減などに向けた取り組みにより、改善の成果が表れています。

3 | 平成 23 年 医療法人経営指標分析

* 分析母体：診療所（医療法人 282 件）の平成 23 年決算データを集計し、うち優良法人（医業収入上位 20%56 件）を抽出して、それぞれ分析の対象とした。

■平成 23 年比較貸借対照表 優良法人（医業収入上位 20%）

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
	優良法人		優良法人
【流動資産】	120,745	【流動負債】	29,602
現金・預金	73,078	買掛金	12,418
医業未収金	39,021	その他流動負債	17,184
その他流動資産	5,370		
【有形固定資産】	54,280	【固定負債】	51,789
		長期借入金	50,486
【無形固定資産】	15,766	その他固定負債	1,303
		負債合計	81,391
【その他の資産】	31,931	資本の部	
			優良法人
		【出資金】	13,479
		【利益剰余金等】	127,852
		資本合計	141,331
資産合計	222,722	負債・資本合計	222,722

1 | 収益性分析

		全法人平均	優良法人平均	差異
収益性	総資本経常利益率（%）	5.5%	6.7%	1.2%
	医業収入医業利益率（%）	4.6%	5.9%	1.3%
	医業収入経常利益率（%）	6.1%	6.1%	0.0%
	総資本回転率（回）	1.7回	1.8回	0.1回

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

■収益性分析コメント

<p>● 利益率 優良法人平均数値が全法人平均数値を上回っています。 優良法人データは、医業収入上位 20%を抽出しており、収益性の高さが数値に現れています。</p> <p>● 総資本回転率 優良法人平均が 1.8 回と全法人平均を 0.1 回上回る結果となりました。</p>
--

2 | 生産性分析

		全法人平均	優良法人平均	差異
生産性	限界利益率 (%)	86.2%	79.4%	△6.2%
	1人当たり医業収入/月 (千円)	1,070 千円	1,698 千円	628 千円
	1人当たり限界利益/月 (千円)	916 千円	1,348 千円	432 千円
	1人当たり人件費/月 (千円)	485 千円	703 千円	218 千円
	労働分配率 (%)	52.9%	52.1%	0.8%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費（外部購入費用）を控除した限界利益（付加価値）の医業収入に対する比率です。	限界利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る指標です。	(医業収入 ÷ 従業員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標です。労働生産性ともいいます。	(限界利益 ÷ 医業収入) ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料などの企業負担も含めたもの）を見る指標です。	(総額人件費 ÷ 従業員数) ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る指標です。	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100 (%)

■生産性分析コメント

●限界利益率

優良法人をみると 79.4%を示し、全法人平均と比べ 6.2%低い数値となっています。

●一人当たりの売上高（医業収入）

全法人平均では 1,070 千円、優良法人では 1,698 千円で、628 千円の差が生じています。優良法人との差は、この指標に表れています。

●一人当たり限界利益

全法人平均は 916 千円、優良法人では 1,348 千円で、432 千円の差が生じています。この指標においても、優良法人との差がみられます。

●一人当たり人件費

全法人平均では 485 千円、優良法人では 703 千円で、218 千円の差が生じています。

●労働分配率

全法人平均では 52.9%、優良法人では 52.1%で、0.8%の差が生じています。

3 | 安全性分析

		全法人平均	優良法人平均	差異
安全性	流動比率 (%)	337.4%	407.9%	70.5%
	当座比率 (%)	316.4%	378.7%	62.3%
	固定比率 (%)	65.2%	72.2%	7.0%
	固定長期適合率 (%)	63.6%	52.7%	△10.9%
	自己資本比率 (%)	55.3%	63.5%	8.2%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る指標です。	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る指標です。	当座資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ 自己資本 × 100(%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ (自己資本 + 長期負債) × 100(%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本(純資産)の割合を見る指標です。	自己資本 ÷ 総資産 × 100(%)

■安全性分析コメント

- 全法人および優良法人平均では、流動比率・当座比率とも高い数値を示しており、短期的な債務返済能力は双方高いと評価できます。
- 換金可能な資産による債務返済能力は、高いといえます。
- 自己資本比率は、他業種と比較して高い水準にあり、財務体質は健全な状況であるといえます。

4 | 成長性分析

		全法人平均	優良法人平均
成長性	医業収入増加率 (%)	△0.3%	△0.6%
	限界利益増加率 (%)	△0.8%	△0.6%
	医業利益増加率 (%)	5.9%	0.2%
	経常利益増加率 (%)	9.5%	3.1%
	自己資本増加率 (%)	1.6%	2.3%

■成長性分析コメント

- 全法人平均および優良法人平均ともに、医業収入増加率と限界利益増加率が若干のマイナスとなりましたが、医業および経常利益、自己資本の各増加率はプラスとなりました。

このうち特筆すべきは、医業収入のマイナス傾向にも関わらず、医業利益および経常利益のいずれも、増加率はプラスを示している点です。その他固定費の数値が減少していることから、各法人が固定費の圧縮に取り組んでいる成果だと思われます。

これは、収入の増加と並行してコスト削減の取り組みを図ることが、利益確保の原点であるということを示しています。

医業経営情報レポート 4月号

平成 23 年決算データからみる クリニックの経営実績報告

【著 者】日新税理士事務所

【発 行 者】桐元 久佳

【発 行】日新税理士事務所

大阪府中央区船越町 2-1-11 2F

TEL : 06-4790-9707 FAX : 06-4790-9710

落丁・乱丁本はお取り替え致します。本書に掲載されている内容の一部あるいは全部を無断で複写することは、法律で認められた場合を除き、著者および発行者の権利の侵害となります。その場合は、あらかじめ小社あて許諾を求めて下さい。

